

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 セック

コード番号 3741 URL <http://www.sec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋山 逸志

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 中川 美和子

TEL 03-5491-4770

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,694	20.8	397	123.3	413	61.4	250	78.3
24年3月期第3四半期	2,230	14.3	177	704.1	256	218.8	140	3,134.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	98.04	—
24年3月期第3四半期	54.98	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,479	3,816	85.2
24年3月期	4,373	3,648	83.4

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 3,816百万円 24年3月期 3,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	38.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,650	18.3	500	64.4	520	19.5	320	31.7	125.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	2,560,000 株	24年3月期	2,560,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	255 株	24年3月期	255 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	2,559,745 株	24年3月期3Q	2,559,745 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国情報サービス業の業況は、経済産業省「特定サービス産業動態統計」によると、月別売上高は前年同月比で5月より5か月連続で増加し、10月は横ばい、11月は減少に転じたものの、IT需要は全体的には回復傾向にあると推察されます。当社事業分野では、競争入札やコンペが定常化し、受注の見通しが立てにくい状況が続きましたが、オープンプラットフォーム関連の商談を中心に商談の引き合いは活発でした。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「変化先取りに注力し技術提案力で顧客基盤のさらなる強化を図る」を実践し増収増益となりました。

ビジネスフィールド（以下、ビジネスフィールドをBFと省略）別には、モバイルネットワークBFは、移動体通信事業者向けのオープンプラットフォームに関連する商談が堅調で、売上高は299百万円（前年同期比10.1%増）となりました。ワイヤレスBFは、Android搭載スマートフォンのエンベデッドソフトウェアに加え、新たなサービス系の商談が増加し、売上高は1,178百万円（同14.1%増）となりました。インターネットBFは、非接触型ICのエンベデッドソフトウェアが堅調を維持し、民間企業向けの技術アプリケーションが増加したことから、売上高は440百万円（同20.3%増）となりました。社会基盤システムBFは、防衛など官公庁系の技術アプリケーションが増加し、売上高は295百万円（同44.3%増）となりました。宇宙先端システムBFは、宇宙関連の地上系技術アプリケーションが回復傾向になり、売上高は273百万円（同38.6%増）となりました。また、ソリューションビジネスは、地上デジタル放送用組込みソフトウェア（製品名：airCube）の販売が堅調で、売上高は206百万円（同31.0%増）となりました。

この結果、全社売上高に占める割合では、社会基盤システムBF、宇宙先端システムBF及びソリューションが増加し、その他のBFが低下しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高2,694百万円（前年同期比20.8%増）、営業利益397百万円（同123.3%増）、経常利益413百万円（同61.4%増）、四半期純利益250百万円（同78.3%増）となりました。

ビジネスフィールド（BF）別売上高

ビジネスフィールド	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)		当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
モバイルネットワーク	271,727	12.2	299,278	11.1
ワイヤレス	1,032,868	46.3	1,178,965	43.8
インターネット	366,112	16.4	440,323	16.3
社会基盤システム	204,702	9.2	295,378	11.0
宇宙先端システム	197,386	8.8	273,500	10.1
ソリューション	157,722	7.1	206,563	7.7
計	2,230,520	100.0	2,694,010	100.0

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

ビジネスフィールド（BF）別受注状況

ビジネスフィールド	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
モバイルネットワーク	323,386	155.6	151,915	189.7
ワイヤレス	1,292,024	115.1	465,728	200.8
インターネット	371,414	98.5	113,516	87.2
社会基盤システム	312,649	128.5	138,758	127.6
宇宙先端システム	315,223	167.2	103,195	147.3
ソリューション	232,015	132.7	91,564	87.0
計	2,846,713	123.0	1,064,678	146.6

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、前事業年度末に比べ105百万円増加し、4,479百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加322百万円、受取手形及び売掛金の減少45百万円などによる流動資産の増加238百万円、長期預金の減少200百万円などによる固定資産の減少132百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ61百万円減少し、663百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少153百万円、賞与引当金の減少100百万円、短期借入金の増加88百万円などによる流動負債の減少70百万円によるものであります。

純資産は、四半期純利益による増加、配当金支払いによる減少などの結果、前事業年度末に比べ167百万円増加し、3,816百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の83.4%から85.2%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成25年1月28日の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,996,458	2,319,079
受取手形及び売掛金	1,019,954	974,277
その他	154,462	116,094
流動資産合計	3,170,875	3,409,452
固定資産		
有形固定資産	62,767	67,864
無形固定資産	164,154	121,070
投資その他の資産		
長期預金	500,000	300,000
前払年金費用	13,956	13,334
その他	461,846	567,826
投資その他の資産合計	975,802	881,160
固定資産合計	1,202,724	1,070,095
資産合計	4,373,600	4,479,548
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,654	54,326
短期借入金	36,000	124,000
未払法人税等	186,686	33,072
賞与引当金	211,000	111,000
その他	187,980	276,355
流動負債合計	669,320	598,754
固定負債		
役員退職慰労引当金	45,459	53,896
資産除去債務	10,153	10,728
固定負債合計	55,612	64,624
負債合計	724,933	663,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	587,341	587,341
利益剰余金	2,596,201	2,770,357
自己株式	△293	△293
株主資本合計	3,660,549	3,834,705
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△11,881	△18,536
評価・換算差額等合計	△11,881	△18,536
純資産合計	3,648,667	3,816,169
負債純資産合計	4,373,600	4,479,548

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	2,230,520	2,694,010
売上原価	1,614,863	1,916,969
売上総利益	615,656	777,040
販売費及び一般管理費	437,723	379,773
営業利益	177,932	397,266
営業外収益		
受取利息	6,337	5,521
受取配当金	788	939
補助金収入	66,014	3,066
受取出向料	4,840	5,041
その他	3,368	4,608
営業外収益合計	81,350	19,178
営業外費用		
支払利息	525	555
為替差損	1,512	—
不動産賃貸費用	1,008	1,010
解約違約金	—	1,205
営業外費用合計	3,046	2,771
経常利益	256,236	413,673
特別損失		
固定資産除却損	—	350
投資有価証券評価損	3,407	—
事務所移転費用	—	4,883
特別損失合計	3,407	5,234
税引前四半期純利益	252,828	408,438
法人税、住民税及び事業税	81,686	129,025
法人税等調整額	30,412	28,465
法人税等合計	112,098	157,490
四半期純利益	140,730	250,948

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。